

4月  
2022年

157号

地域共創・未来共創の大学へ

広  沖縄大学 **報**  
OKINAWA UNIVERSITY

発行

沖縄大学経営企画室

〒902-8521 沖縄県那覇市字国場555

☎ 098(832)2910

<http://www.okinawa-u.ac.jp>

# 山代寛 新学長 沖縄大学第25代学長に就任

## 新入学生へのメッセージ

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。沖縄大学へようこそ！

沖縄大学は創立されてから60年以上の歴史を持つ県内で一番古い私立大学で、「地域共創・未来共創の大学へ」という理念を持っています。今年は復帰50年の節目の年ですが、沖縄大学は復帰時、国によって取り潰されるという先が見えないような危機を乗り越え、地域に慕われ地域に信頼されるに至った歴史、物語を持っています。この物語は他の大学にないかけがえのないものです。

皆さんは、新型コロナウイルス感染症のために困難な高校生活を送られてきたとおもいますが、入学後すぐにはコロナ禍はおさまらないでしょう。一日も早くマスクを外して語りあえるような環境に戻ってほしい、そしてこれまでの沖縄大学の物語と皆さん自身の物語を重ね合わせて不確実な未来に耐えるちからを養い、それぞれオンリーワンの物語をこれからつむいでいてほしい、と切に願っています。

# 2022年度赴任教員・新入職員紹介



新任職員  
山城 早喜子

初めまして、4月から沖縄大学の職員として着任いたしました山城と申します。私自身、大学生活はとても印象深く、社会人になる前の大切な時間でした。そのような特別な場所でも職員として携われることをとても嬉しく思います。私は今まで、自分が興味を持ったことは、たとえ経験してない分野でも果敢に挑戦してきました。大学職員の仕事は多岐にわたると思いますが、今まで培ってきたチャレンジ精神で精一杯務めさせていただきます。至らない点が多々あると思いますが、自分ができることを全力で取り組みますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



福祉文化学科 教員  
[ソーシャルワーク実習]  
宮元 預羽

福祉文化学科に着任いたしました宮元預羽（みやもとよはね）と申します。沖縄は青春時代を過ごした第二の故郷で、良く学び、良く遊び、そして社会人の基礎を身に着けた場所です。この度19年ぶりに沖縄に帰って来られたことを嬉しく思っています。研究の関心分野はケアマネジメント、専門職の実習教育。介護が関連する虐待や殺人事件の防止策の検討です。これまで介護福祉士教育に携わりましたが、沖縄大学では初心に戻って社会福祉士教育に携わっていきたく思います。また学生の皆様と共に成長できることを楽しみにしております。気軽に声をかけて頂けたら嬉しいです。



経法商学科 教員[日本語]  
行木 瑛子

初めまして。4月より経法商学科に着任しました行木瑛子と申します。「日本語のシステム」や「日本語ライティング」を担当する予定です。専門は応用言語学・言語教育で、言語教育での翻訳活用法や、日本語学習者・英語学習者の言語習得研究などもしています。普段意識せずに使っている「ことば」ですが、様々な視点から見つめると新しい発見がたくさんあります。「ことば」について学生の皆さんと一緒に考え、研究・教育活動を通して、大学や地域に少しでも貢献していきたく思っています。これからどうぞよろしくお願い申し上げます。



経法商学科 教員[刑法]  
富山 侑美

今年度から経法商学科に講師として着任いたしました、富山侑美（とみやまゆみ）と申します。前任教の北海道から沖縄に引越してきて、本学で、新しい環境で教育・研究ができることにワクワクしています。よろしくお願ひいたします。専門は、刑法と医事法です。刑法は、犯罪と刑罰にかかわる難しい分野ですが、「なぜ他人を傷つけてはいけないのか？」というところにその人それぞれの倫理観から考え始めることができる身近な学問でもあり、価値観が分かれてしまう場面でもどのように問題を解決するのか、というこの答えの1つが刑法に隠れているので、その知恵を学んで、将来起こる様々な日常的問題の解決に生かしてもらえようように講義していきたいと思ひます。



新任職員  
外間 杏香

初めまして。今年度より事務職員として採用されました。外間杏香と申します。前職では管理栄養士として病院に勤務し、患者様の栄養管理を行っていました。以前から大学職員に興味を持っていました。管理栄養士という資格職であったため、なかなか踏み出せずにいました。そんな私にとって沖縄大学の勤務は、今までの殻を破った「春の大冒険」というおかげです。大学職員としての経験が無く、ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、前向きに丁寧に仕事に励み、一日でも早く大学運営、学生サポートに貢献できるように尽力いたします。これからよろしくお願い申し上げます。



新任職員  
金城 光

この度、4月より沖縄大学の専任職員として採用されました金城光と申します。私は、本学の法経学科を卒業し、その後は教務課で非常勤職員として約2年間勤めておりました。当初は公務員志望だったため、その勉強をしながら働いておりましたが、次第に大学事務へ興味を抱き、この道へ進むことを決めました。出身校である本学へ採用されまして大変嬉しく思っております。これからも学生や教職員の方々のお役に立てるよう、日々、頑張りたくと思ひます。どうぞよろしくお願い申し上げます。



新任職員  
翁長 佑次郎

今年度より専任職員として採用されました。翁長佑次郎と申します。沖縄大学法経学科の卒業生です。前職は県内の社会人野球チームに勤めておりました。母校に貢献したいという思いから9年振りに帰って参りました。自らの経験を活かし、学生や教職員の方々と信頼関係を築き、コミュニケーションを大切に業務に取り組みしていきたいと思ひます。また、学生の成長をサポートすると共に自分自身もしっかりと成長し、周りから頼られるような職員を目指して頑張ります。どうぞ宜しくお願い致します。



新任職員  
仲松 咲良

今年度より事務職員として採用されました。仲松咲良（なかつらさくら）と申します。私自身、沖縄大学（健康スポーツ福祉専攻）の卒業生です。成長の多い4年間を過ごしたこの母校で、次は学生や沖縄大学を支える立場として携われることに、喜びと誇りを感じています。学生のサポートはもちろん、教職員や地域の方々との関わりも大切に、今以上の沖縄大学を築く一員として、自分自身も成長したいと思ひます。まだまだ力不足な面が多いと思ひますが、精一杯努力致しますので、どうぞよろしくお願い致します。

# 2021年度退職者紹介



経営企画室  
金城 敬

この度、3月末日をもって退職することになりました。教職員の皆様、これまで色々とお世話になりました。ありがとうございました。私は一九九七年に三十四歳で沖縄大学に入職しました。このときがはじめての事務職で、わからないことが多くありましたが、遅れてきたオジさんに教職員の皆様は丁寧に指導してくださいました。また、沖縄大学ではありがたいことに、業務がわからないことを、学べる機会が用意されていました。それまで学ぶ機会がなかった、サーバー・ネットワーク管理、プログラミング、学校会計等を学ばせていただき、私にとって大きな財産になったと思ひます。四月からはあらたな立場でお世話になります。四月からもよろしくお願い致します。



福祉文化学科  
見城 育夫

福祉文化学科の先生方はじめ、互助会、労組活動などを通して触れた学部学科を越えた諸先生方、また学内各部署のスタッフの皆様にはいつも親しく接していただき、またかわいがりもいただきました。新たな職場でも、皆さまが私にしてくれたのと同じように周囲の方々と親しく接することで私自身も周りの方々も皆が気持ちよく仕事ができるような環境を整えることできれば良いと思ひます。これまでの充実した日々々に感謝いたします。皆さまの今後の多幸を祈念申し上げます。



経法商学科  
古座 文彦

5年の期間をもってこの度任期満了となりました。福祉文化学科の先生方はじめ、互助会、労組活動などを通して触れた学部学科を越えた諸先生方、また学内各部署のスタッフの皆様にはいつも親しく接していただき、またかわいがりもいただきました。新たな職場でも、皆さまが私にしてくれたのと同じように周囲の方々と親しく接することで私自身も周りの方々も皆が気持ちよく仕事ができるような環境を整えることできれば良いと思ひます。これまでの充実した日々々に感謝いたします。皆さまの今後の多幸を祈念申し上げます。



常務理事  
照屋 正

2019年7月に就任しあつという間の2年9カ月でした。この間、理事長をはじめ教職員の皆さまには大変お世話になりました。心から感謝申あげます。ちょうど沖縄大学が健康栄養学部をスタートさせ、さらなる飛躍をめざす時期に微力ながら仲間に加えていただいたことは、とても幸運でしたし貴重な経験となりました。4月からは弟が院長をしている「化」を急いでおり、その手伝いをすることになりました。今後も沖縄大学とのつながりを大切に、大学の発展を応援してまいります。

## 新入生へのメッセージ



左から【管理栄養学科 学科長】宮良 恵美 【健康栄養学部 学部長】新城 正紀 【福祉文化学科 学科長】玉木 千賀子 【大学院現代沖縄研究科 研究科長】名城 健二  
【経済商学部 学部長】豊川 明佳 【経済商学 学科長】島田 尚徳 【国際コミュニケーション学科 学科長】渡邊 ゆきこ  
【こども文化学科 学科長】須藤 義人 【人文学部 学部長】喜屋武 政勝

### Where there's a will, there's a way 意志あるところに道は開ける

経済商学部 学部長 豊川 明佳

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんの未来には、無限の可能性が広がっています。大きな理想を持って、充実した大学生活を送ることを期待しています。経済商学部は、皆さんの可能性の芽を伸ばし、開花の手助けをする知の拠点です。しかし大学は勉強を強制するところではありません。受け身ではなく、自らの強い意志で学びに向かい合い、様々な挑戦をしてください。今、世界中が困難と変化の時代を迎えています。私たちはその変化に対応していかななくてはなりません。そのため、社会のあらゆる課題を発見し、物事の本質を正面から見抜き、自分自身でその課題を解決する能力が求められています。経済商学部の教職員は、皆さんが創造的思考を身につけ、希望にあふれる未来を描くことができるよう、できる限りの支援を行っています。そして4年後の皆さんが、着実に実力を蓄え、飛躍し、自らの夢を実現することを心から願っています。

### 「学び」、そして「仲間づくり」を!

人文学部 学部長 喜屋武 政勝

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。人文学部の各学科では、言語と異文化理解、福祉共生社会、健康とスポーツ、こどもの教育、といったそれぞれの専門分野についての知見と技能を習得することとなります。どうぞ、自身の未来予想図(キャリアデザイン)を見すえつつ、この4年間で、社会に通用する即戦力を身につけてほしいと思います。さらに人生をゆたかにする教養をみがいてほしいとねがいます。そして何よりも、志を共有する仲間づくりがみなさんをささえてくれることでしょうか。教職員一同、みなさんを全力でサポートしてまいります。

### 楽しく充実した学生生活を応援します

健康栄養学部 学部長 新城 正紀

ご入学おめでとうございます。皆さんは、大きな夢を叶える大切な一歩を歩みだしました。さて、健康栄養学部管理栄養学科は、教育理念として「地域に根差した健康活動に寄与する専門家の養成を目指す」という目標を掲げています。皆さんは、本学で食品や栄養に関する知識・技能を身につけ、主体的に学び未来を切り開く能力を養っていただきたいと願っています。また、豊かな人間性を身につけ、地域社会に貢献できる人材として育ててほしいと思います。私たち教職員は、皆さんが楽しく、充実した学生生活を送れるように全力で支援します。

### 幸運は偶然ではない(Luck Is No Accident)

経済商学 学科長 島田 尚徳

上記は、心理学者J.D.クランボルツらの著作名ですが、同書では、よりよいキャリアを送るためには、「偶然的出来事」との出会いを大切に、「行動を起こす」ことの重要さが強調されています。ここでの「出来事」には、新たな人々との出会いだけでなく、新たな学問や研究との出会いも含まれます。

一同、みなさんへ「偶然的出来事」との出会いを数多く提供し、「出来事」を前向きに受け止め「行動を起こす」ための後押しをしていきたいと思っています。

「幸運」を掴み取るために、一緒に、常に好奇心を持ち、学び、挑戦していきましょう!

### 異文化体験によるこそ

国際コミュニケーション学科 学科長 渡邊 ゆきこ

あなたは自分と違う意見を持つ人に、自分の考えを理解してもらうことができますか? 親しい友人同士、親子間、あるいは男女の間でも、それぞれに立場と思惑や価値観があり、意志の疎通は決して容易ではありません。それが文化を異にする外国人との間であればなおさらです。

これから4年間、皆さんは言葉も文化も価値観も違う人と出会い、時には自分がずっと「当たり前だ」と信じていたことを否定されてショックを受けるかもしれません。それが本学での学びの理想的な第一歩です。さあ、異文化の冒険を始めましょう。

### 学びのキーワードは、福祉(幸福)の実現

福祉文化学科 学科長 玉木 千賀子

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。皆さんの目の前にはどのような景色が広がっているでしょうか。自分の将来の姿とそこに向かう道筋が見えている人もいれば、これからの生活を描くことができず足元を見つめている人もいるのかも知れません。どちらにとっても大切なことは、五感を働かせて自らの興味や関心を深める、その積み重ねではないかと思います。社会福祉専攻と健康スポーツ福祉専攻から構成される福祉文化学科の学びのキーワードは、福祉(幸福)の実現。共に、「人々の幸福を願う」という文化を育てていきましょう。

### 日々の「小さな一歩」を大切に!

こども文化学科 学科長 須藤 義人

ご入学、おめでとうございます。コロナ禍や世界情勢の暗いニュースで揺れ動いている昨今ですが、新しい日々への一歩を大切に踏み出していきたいと思います。

皆さんが本学への進学を選んだ「大きな一歩」も、振り返ってみれば、日々の「小さな一歩」を積み重ねた結果だと思えます。これからの4年間も、その一歩一歩は決して焦らず、「今日の自分は昨日の自分より少し成長した」ことを実感しながら、ゆっくりと進むことが重要です。学びとは、そういう積み重ねです。この「学び舎」で、日々の一歩一歩を皆さんと歩んでいけることを楽しみにしております。

### ご入学おめでとうございます

管理栄養学科 学科長 宮良 恵美

新入生の皆さんを迎え、管理栄養学科は1~4年次までが揃いました。受験ではライバルだった同級生は、協力し合う大切な仲間になります。教員と共に学科を立ち上げてきた2~4年次は、皆さんにアドバイスができる頼もしい先輩です。人と繋がりにくいコロナ禍だからこそ、全ての出会いに感謝して、積極的に勉強や学内外の活動に取り組んでいきましょう。専門科目はナント!3年間で学習を終え、4年次には「臨地実習・卒業研究・国家試験」の仕上げです。ハードですが楽しい大学生活、皆さんのステップアップを全教職員で応援します。

### 研究の醍醐味

大学院現代沖縄研究科 研究科長 名城 健二

大学院への進学おめでとうございます。沖縄大学の大学院生は社会人が多数を占めます。社会人としてそれぞれの職場で日々奮闘し、現場の実情と課題への問題意識を持ち、その問題を学術的にどう解決していくかという志をお持ちでしょう。研究とは、起きている事象を科学的な手法で分析、解明していくことで、その過程そのものが研究の醍醐味です。

大学院では新しい知識を学ぶと同時に、研究作法を学ぶこととなります。当初は、慣れない環境で苦労することもあると思いますが、教職員が一丸となって院生のみなさんをサポートしていきます。

# 2021年度卒業生 内定者の声

(本学ホームページでも特集しています)



就職の極意  
自分が目指していることと向き合い、目指すものに対して今なかが不足しているのかをきちんと理解し、それを埋められるように、がむしゃらに頑張ってください。

**楚南 宏武さん**  
(宮古高校出身)  
経法商学科  
内定先/警視庁

### 大学時代について

奨学金の受給もでき、大学では有意義な4年間を過ごせたと思います。法律の勉強はもちろん大学時代も人のためにボランティア活動にも取り組みました。春田吉備彦教授のゼミを履修し、先生には講義終了後もいろいろ親身に相談に乗ってもらえて、とても感謝しています。

### 就職活動を振り返って

「絶対に警察官になりたい」という熱い想いが孤独な勉強や面接試験のときも大事だったなと思っています。大学1年次から毎日数時間勉強をして、2年次からは本格的に筆記試験に備え、多いときは1日に10時間ほど勉強していました。学内の図書館やラーニングcommonsなど集中できるスペースを利用して取り組みました。苦しいとき、勉強が辛いときもありましたが、そういう時はモチベーションノートに今の課題を書きだして、気持ちを整理していました。書くことで、自分はやはり警察官になりたいという想いに気づけて、なら勉強がんばるしかないという奮い立たせることができました。

### 今後の夢

刑事部への配属を希望しています。捜査一課で凶悪犯罪等から人命を守れるように、責任をもって職務に勤めたいと考えています。

### 先輩へのアドバイス

自分が目指していることにきちんと向き合い、目指すものに対して今なかが不足しているのかをきちんと理解し、それを埋められるように、がむしゃらに頑張ってください。

**沖縄大学に進学を決めた理由**  
社会福祉士と精神保健福祉士、2つの資格が取得できる沖縄大学への進学を決めました。テキストに載っていない部分の学びができたことが沖大で学んだ一番の魅力じゃないでしょうか。現場出身の先生方が多く、経験からのお話、また課外活動を紹介してくれたり繋げていただき、社会福祉を突き詰めた勉強が多かったと思います。大阪は他県に比べて地域の人たちと新しいことをやっているという取り組みが盛んで、地域福祉の観点から福祉の最先端の地域だと思うので、そこで働けることに魅力を感じています。

**面接時にPRしたこと**  
これまでイベント企画をたくさん実践してきたことをアピールしました。また資格取得に取り組んだこともPRしました。面接で心掛けたことは、「嘘をつかない」ということです。リモート面接だったので、背景を白い壁にして、顔の輪郭をはっきりさせるようにしたり、照明を明るくしたりと工夫はしました。

**今後の夢**  
福祉についてももっともっと勉強したいと思います。社会教育士や特別支援等、教育関連の資格取得も目指したいです。

**先輩へのアドバイス**  
人生の将来設計(キャリアプラン)について考えて、社会人としてのスタートにどのような就職先に就くのかイメージしてみるのも大事です。



就職の極意  
人生の将来設計(キャリアプラン)について考えて、社会人としてのスタートにどのような就職先に就くのかイメージしてみるのも大事です。

**橋口 風伍さん**  
(読谷高校出身)  
福祉文化学科社会福祉専攻  
内定先/大阪市社会福祉協議会



就職の極意  
自分が目指していることと向き合い、目指すものに対して今なかが不足しているのかをきちんと理解し、それを埋められるように、がむしゃらに頑張ってください。

**新城 紘大さん**  
(八重山農林高校出身)  
国際コミュニケーション学科  
内定先/デジタルデータソリューション(株)

### 大学進学について

沖縄県内の大学で奨学金が充実している大学にしようと思いましたが、学費の負担を減らして海外へ留学できればと最初から考えていて、大学2年次にはオーストラリアへの短期留学を果たし、その後農林水産省の制度を利用し、アメリカへの留学を決めました。

### 就職活動について

留学から戻り、3年次の11月~3月はみっちり就職活動に励みました。県外で働きたいという希望があり最初は食品業界を第一志望にしていたのですが、コロナ禍になり、枠を広げて企業分析を行いました。50~60社ほどの説明会に参加し、22社受けて11社から内定を得られ、IT関連の企業に就職を決めました。内定企業との出会いは、登録した就職サイト(「情熱フェスタ」)のイベントで私の提案に興味を持っていただき、声をかけていただいた形です。就職必須アイテムは、面接中にもメモを欠かさなかったノートです。

### 先輩へのアドバイス

就職活動に早すぎるということはありません。まず動くこと!動きながら、答えが見つかることも多々あります。

### 今後の夢や目標

就職先は、例年800人の志願者から20名程度しか採用されない会社で、学歴の高い同期が多い会社です。知力ではかなわないと思うので、まずは同じラインにたてるように自分の強みであるコミュニケーション能力を活かしてがんばっていきたいです。





**石川 琉人さん**  
(辺土名高校出身)  
こども文化学科  
内定先/大宜味村役場

就職の極意！  
いろいろなことにチャレンジして  
多くの人に出会って

**内定頂いた大宜味村役場について**

中学校までは浦添に住んでいましたが、自然環境分野を学びたいと思い高校は辺土名高校に進学しました。なので就職活動では、高校時代にお世話になり、愛着がある大宜味村に貢献したいとPRしました。大学でも共通科目で自然環境に関する科目を履修したので観光企画課などで大宜味村をよりPRしていきたいと提案したことが内定に結び付いたのではないかと思います。

**大学生活を振り返って**

こども文化学科に進学したことは良かったと思います。大切な仲間との出会いがあったからこそ就職も内定がいただけたと思っています。こども文化学科の仲間たちは、『みんなで上へ上へ！がんばろう』という気持ちを持っているメンバーばかりなので、お互いの気持ちを高めあうことができました。その環境は勉強しやすかったですし、一人で勉強しているときもかなり励まされました。

**先輩へアドバイス**

教員を目指してこども文化学科に入ってきたとしても、いろいろなことを経験して自分の視野を広げてほしいなと思います。いろいろなことにチャレンジして、多くの人に出会ってほしいです。それが、どんな社会人になるか、どんな職業に就くかなど自分の将来の幅を広げることに繋がると思います。

**今後の夢や目標**

過疎化が進み、定住者獲得に力を入れている大宜味村、もっと人口を増やして賑やかな街になるようにしていきたいです。自然や景観を壊すことなく開発をすすめることを第一に、日本一の長寿の里になれたらいいなと思っています。あと山と海に囲まれた地に軒家を建てるのが夢です。

**大学進学について**

人に教える仕事=教員という職業が向いているのではないかと沖縄大学への進学を決めました。高校時代から大学の制度や情報については友人たち共有することが多く、国内派遣留学制度についても情報を得ていたため、2年次には法政大学へ1年間の国内留学にも行きました。その法政大学での講義で、多くの企業の方から話を聞く講義があり、仕事について興味湧いてきて、教師の道だけでなく就職活動も平行して挑戦しようと思った感じです。

**就職活動で大変だったこと**

コロナ禍でのオンライン面接が最初は慣れなかつたり、業種を狭めずに就職活動を行ったのでたくさんの企業を見すぎて逆になにをしていいかわからなくなることもありました。そんなときに就職支援課にアドバイスを頂いたり、自分では気づけていなかった企業情報等について教えてもらったりして、結果6社受けて、3社から内定を頂くことができました。

**先輩へアドバイス**

こども文化学科は教師になるか、就職か、と別ものとして区別されがちですが、教師の道も就職の一つの選択肢として考え、大変だと思うけど、就職活動の幅を広げてい頑張りたいなと思います。やりたいことにたくさんチャレンジしてほしいです。

**今後の夢や目標**

社会人として周りから尊敬される人になりたいですし、自分が尊敬する人にも近づきたいなと思います。



就職の極意！  
就職活動の幅を広げて  
たくさんチャレンジして

**赤崎 杏奈さん**  
(那覇高校出身)  
こども文化学科  
内定先/リコージャパン株式会社



**桃宇 菜々さん**  
(糸満高校出身)  
経法商学科  
内定先/株式会社沖縄銀行

就職の極意！  
受け身でなく行動するのさ！  
積極的に取り組むのさ！

**銀行を志望した理由について**

小学校6年生の頃には将来の夢は銀行員と決めていました。沖縄に密着した仕事というのやりがいがあると思います。経済や金融を学びたかったので、沖縄大学へ進学しましたが、大学では、金融について学べるゼミを履修していたので、先生からたくさん情報を得られ、就職活動に直結した学びが多かったです。

**就職活動を振り返って**

試験勉強が大変でした。暗記暗記の日々でした。3年次の1月から本格的に勉強をはじめましたが、もっと早い時期から取り組めばよかったと思いました。面接試験は対面だったんですが、パネルがあり、普段より大きな声で、また聞き取れないことがないようにかなり集中して臨みました。細かいことも気になり、コロナ禍の就職活動はいろいろ手探りで、小さな悩み事も多々生じて、気を遣ったなと思います。コロナ禍で県内では沖縄銀行だけがインターンシップの開催となりましたが、3日間のインターンシップもとても勉強になりました。

**先輩へアドバイス**

なんでも早いうちから取り組むのがよいと思います。あと、SNSは見ないように私は心掛けていました。内定した人の声を見てはへこんでしまったりしますから、それは避けたいほうがいいと思います。自分から情報を収集して、受け身ではなく行動するのみです。

**今後の夢や目標について**

資格取得を目指して、戦力となる行員を目指します。人間力を高めて、そしてお客様に頼られる存在でありたいと思います。そして少しでも、沖縄のためになるような人であります。

**就職活動を振り返って**

コロナ禍というのが人生の決断に大きな影響を与えることになったと思います。アルバイトでジムのトレーナーをしていたので、このままこの仕事に就こうと思っていましたが、コロナ禍でジムは営業を停止しました。この仕事は有事のときに生活に影響が出ると感じて、公務員が良いのではと強く思うようになりました。親は自営業で週6で働いていますが親からも公務員を後押しするアドバイスがありました。一番大変だったのは勉強です。1日13時間勉強していました。勉強をはじめたのは3年の夏休み前から(7月頃)で塾に通いながらです。塾では沖国、琉大の学生がいたので、負けたくないという想いからかなり勉強しました。面接時に聞かれたことは大学での学びについて特に質問があり、私はゼミでのFC琉球のプロモーション施策を提案する取組みについて答えました。

**今後の夢**

公の奉仕者としてひとのために。働くなら誰かのためにはずっと思ってきました。

**先輩へのアドバイス**

たくさんのアルバイトに挑戦してほしいです。私も大学時代に7つのアルバイトを経験しました。いろいろな仕事をみて学んでほしいです。大学のイベントにも積極的に参加したほうがいいです。学校のイベント、研究等については、率先して取り組みました。面接のときに積極的にやっていたからこそ話す材料になったと思います。

**必需品だったもの**

時計です。普段はつけないけど、試験会場に時計がなく、時間配分が試験で大事ですから必ず持っていきました。面接のときも時計をつけている人は印象が違うようです。時間にきちんとしている人という印象を与えることができます。



就職の極意！  
大学のイベントにも  
積極的に参加して！  
面接のときに活かせる！

**仲松 大路さん**  
(具志川高校出身)  
福祉文化学科健康スポーツ福祉専攻  
内定先/沖縄防衛局

# 2021年度 卒業式・修了式

## 2学部、大学院合わせて 360名が巣立つ

2022年3月11日、2021年度沖縄大学卒業式・修了式が行われました。新型コロナウイルス感染症対策の観点から、今年も学科ごとに会場を分散して体育館を主会場として行われる式典の模様をライブ配信して挙行されました。

盛口満学長や棚原勝也同窓会会長の挨拶の中では、ロシアのウクライナ侵攻等社会情勢についても触れられ、未来を担う卒業生たちに、このようなことが起こらない世の中にできるような考えていってほしいと、平和を願う言葉も添えられました。

式典終了後には各学科で卒業証書授与式・修了証書授与式が行われ、4年間の大学生活を振り返りながら恩師や仲間との時間を涙や笑顔で過ごしている様子が見られました。



## 学長告辞

学長 盛口 満

卒業生の皆さん、本日は卒業おめでとうございます。

一昨年の2月以来、日本全土を襲い、いまだに収束の見通しが立たないコロナ禍の中、皆さんは、大学生活だけでなく、さまざまな場面で不安を抱え、困難に直面することもありながら、それでも努力を怠ることもなく、新たなことにチャレンジすることで、本日を迎えたのではないのでしょうか。

先日、本を読んでいて、「当たり前前」のことは、失われつつあるときに、はじめてその貴重さが気づかれる」という文章を読んではとしました。この文章は、かつて人々が生活するために作り上げた里山と呼ばれる自然に、関心された文章の中にあつたものです。今から50年ほど前までは、都市部に暮らす人以外、田畑を耕し、近隣の森や林から燃料や肥料となる材や落ち葉を集めるという、自然と密着した暮らしをおくっていました。そうした暮らしが続く中、人々の生活圏の周辺にみられるようになった自然が里山と呼ばれる自然環境です。ところが1960年代以降、燃料にガスが使われ、遠隔地からの農作物や工業製品が隔々までいきわたるようになり、里山と呼ばれる自然環境は大きく姿を変えました。沖縄においても、50年ほど前まで各地にあつた田んぼは、一気に姿を消し、それと共に里周辺の自然は大きく姿を変えていきます。かつて当たり前として存在した、この里の自然は少しばかりの写真とお年寄りの記憶以外には、ほとんど姿を消してしまっているというのが現状です。そして、あまりに当たり前すぎて、これまで記録もとられていなかったというのが実態です。私は、鳥々をめぐってお年寄りたちからその当時の様子について聞き集め

人々の記憶が消え去る前に記録に残す作業をしています。

人生の中にも、それまでの当たり前と別れを告げる時があります。

私は大学卒業後、私立高校の教員をしていました。しかし、15年勤めたのちに、自分の意思でその学校を退職することを決めました。退職届を校長室に出しに行く際、それまで何気なく見ていた窓の外の中庭の風景が、それまでと違って見えたことをよく覚えています。自分が何か取り返しのつかない選択をしたのではないかという不安に襲われたことも覚えています。一方、そのような選択の末、私は今、ここに立っています。

思い返せば、コロナが蔓延する前に当たり前だったことが、今は当たり前でなくなってしまうことが、一緒にお酒を飲んで話したりすることができなくなってしまうこと。代わりにはオンラインでの授業が当たり前となり、Zoomなどのアプリで、遠隔地にいる人といながらして対話することも普通にできるようになりました。しかし、こうした中で、あらためて直接人と会うことの大事さが、明らかに変わったのではないのでしょうか。それまでの当たり前だった生活との別れは、自分で選ぶ場合もあれば、いやおうなしに訪れる場合もあります。しかし、そのいずれにもあてはまるのは、当たり前だったときは、当たり前の中に埋もれた大切なことになかなか気づけないということです。

この卒業式を前に、ロシアのウクライナ侵略という、まったく予期せぬことがおこりました。武力で他国を制圧する。しかも核の力をちらつかせ、世界を黙らせようとする。いまままでにない脅しをロシアがおこなっていることが、世界に衝撃を与えています。その中で、改めて思うのは、「力」は他人を、思うがままに扱うために持つものではないということです。たとえ時的にロシアが思うままのことをとげることができたように

見えても、それは長くは続きません。力は他人と結びつき、時に手助けするためのものです。大学の中で、皆さんは、それぞれ何らかの力を身に付けたことと思います。その力は何のためのものかということ、考えてほしいと思います。

こうして卒業式を迎えられている皆さんは、これまで当たり前だった大学生の日常生活の日々から旅立つこととなります。思い返せば、きつと、それぞれに、かけがえのない大事なことがあつたと思うのです。ぜひ、そのことについて、思いを巡らせてみてください。そして、あらたな当たり前の日々に向けて歩いてほしいと思います。

今日はみなさんにとって、あらたな始まりの日です。皆さんの卒業をお祝いし、皆さんの活躍を願います。私からの告辞とさせていただきます。



## 2021年度 卒業生・修了生特別表彰者

## 学長特別賞

## 橋口 風伍

福祉文化学科 (読谷高校卒)

橋口さんは、学業に打ち込みながら、沖大祭の実行委員長を務め、学外では沖縄県主催の人材育成プロジェクトや多くのボランティア活動を行うなど、地域に対する社会貢献にも積極的に取り組みました。

これらの熱意ある活動は、「地域共創」を掲げる本学の姿勢を体現したものでした。それらの活動を賞し、学長特別賞が贈られました。

## 【受賞しての感想】

このような賞を受賞でき、本当にうれしく感じています。

私は目に見えるパフォーマンスが輝いていたわけではありません。ただひたすらイベント屋さんとして活動を続けてきただけです。同時に、私という学生を信頼して協力や応援をしてくれた教職員の方々や学生の仲間たちがあったからこそ活動が行えてきたのです。そのため受賞を喜ぶとともに、多くの方に感謝を伝えたいと思います。私にとっては活動が居場所であり、その基盤が大学でした。今後は仕事を基盤とする中でも、自分らしさを忘れずに、新たな居場所を作れればと思います。



## 嘉数昇記念賞

## 新田 和馬

経法商学科 (読谷高校卒)

新田さんは、教員免許の資格取得に励み、琉球弧研究や卒業研究も立派に成し遂げました。

学外では、首里城友会の史跡巡視等、沖縄の文化財保護に積極的に取り組みました。また、在学中に大学院の講義にも参加し、現役で大学院に合格しました。それらの活動を賞し、嘉数昇記念賞が贈られました。



## 野球部 2021年度卒業生

野球部は、第105回九州地区大学野球選手権大会で優勝し、第70回全日本大学野球選手権記念大会に悲願の初出場を果たしました。

その活躍が、本学の社会的名声を高めることに貢献しました。その活躍を讃え、嘉数昇記念賞が贈られました。



## 経法商学部長賞

## 荷川取 昂弥

経法商学科  
(小禄高校卒)

## 人文学部長賞

## 大見謝 彩虹

福祉文化学科  
(西原高校卒)

## 経法商学部長賞

津波 葵  
津波 樹経法商学科  
(浦添商業高校卒)  
(真和志高校卒)

## 人文学部長賞

## 與那原 朝香

こども文化学科  
(首里高校卒)

## 人文学部長賞

## 上地 史織

国際コミュニケーション学科  
(小禄高校卒)

## 現代沖縄研究科長賞

## 海野 高志

地域経営専攻



# News & Topics

2021

## 12/12 金賞受賞！『吹奏楽部 沖縄県アンサンブルコンテスト』

第46回沖縄県アンサンブルコンテストがうるま市民芸術劇場で開催され、本学吹奏楽部が大学の部、管楽三重奏で見事金賞を受賞しました。吹奏楽部はこの大会には8回出場（2009年に部設立）、受賞は2度目となります。

また金賞を受賞した管楽三重奏のメンバー3名が、12月14日に理事長・学長を表敬訪問し、受賞の報告を行いました。今年度前期は、コロナウイルスの影響により活動を制限し、後期になってからの活動再開でした。本格的な練習ができたのはコンテスト前のわずか3週間でしたが、金賞を受賞することができました。吹奏楽部は、今後、学内での演奏や他大学とオンラインでの合同演奏を計画しており、活動を活性化していきたいと抱負を述べていました。

構成：管楽三重奏 演奏曲「ある素敵な日に」

出演者：崎濱秀華（管理栄養学科）

新垣嘉規（管理栄養学科）

長谷川理子（こども文化学科）



2021

## 12/11 第8回「チャレンジスポーツ教室」 琉球agachiブラインドサッカー教室

定期的に様々なスポーツ団体を沖縄大学にお招きし、「中級障がい者スポーツ指導員」の資格取得を目指す学生と体験・交流の場を作る「チャレンジスポーツ教室」。第8回となる今回（12月11日開催）は、県内唯一のブラインドサッカーチーム、琉球agachi（アガチ）の皆さんにお越しいただき、ブラインドサッカー体験教室を行いました。



琉球agachiの皆さんは、昨年度に引き続き2回目の教室開催となります。アイマスクをした状態でのレクリエーションや、チームが普段行う練習メニューを体験させていただき、ブラインドサッカーの難しさや奥深い魅力に触れることができました。また、今回の教室を機に、チームの練習に学生が自主的に参加させてもらうなど、新たな交流も生まれています。

2022

## 2/19 コロナ禍ならではの調理実習会 「国場555(沖大)から発信する子ども食堂お助けメニュー」

管理栄養学科子ども食堂サポートチームによる調理実習会が開催されました。

これは子どもの居場所で、スタッフと子どもたちが料理を一緒にすることやお手伝いをおととして、子どもたちが食を楽しみ、食の自立を育む取り組みとして（チャレンジ沖大生企画として）実現したものです。コロナ禍、通常の調理実習の開催が難しいため、学生たちが考えた子どもたちが見てわかりやすい調理の仕方を動画に収め、それを見ながら沖縄大学の調理実習室と2か所の子どもの居場所とをzoom配信でつなぎながら3か所同時にカレーの調理に取り組みました。



学生制作のお助けメニュー動画は、今後那覇市の社会福祉協議会のHPでも配信予定です。

2022

## 2/12 第581回土曜教養講座

第581回土曜教養講座「米軍基地と基地労働者」がzoomウェビナーにて開催されました。

登壇者は、名古屋大学修士課程2年生のハサンバイ・ラヒムベルガノフ氏、全駐労中央執行委員長の紺谷智弘氏、岐阜大学地域科学部准教授・社会学博士（一橋大学）の伊原亮司氏、本学経法商学部教授の春田吉備彦先生が務めました。

2021

## 12/13~17 「学生による学生のための食品提供プロジェクト」

福祉文化学科の中山暉野さんを中心に活動する「学生団体み〜ま〜」による『Let me fly ～届けよう結の輪を～』（学生による学生のための食品・生活情報提供プロジェクト）が12月13日～17日の日程で開催されました。新型コロナウイルス感染症により、影響を受けた学生への応援プロジェクトで、期間中、多くの学生が集まりました。



イオン琉球株式会社のほか、那覇市社会福祉協議会、豊城市社会福祉協議会、なは市民活動支援センター、沖縄県労働金庫、沖縄県社会福祉協議会等から食品や日用品のご提供、学生生活に必要な情報等を寄せていただき、期間中、学生応援セット（食品や日用品・情報）を提供しました。



学生応援セットを受け取りにきていた山田莉子さん（こども文化学科1年次）は、「新型コロナウイルスの影響で、少し困っていたので、このような活動はとても助かります」と話していました。

2021

## 12/23 一人暮らしのお年寄りに年賀状を！ (福祉文化学科)

福祉文化学科の学生が学内で実施しているミニデイサービスを利用してのお年寄りに年賀状を贈りました。

沖縄大学では2013年度から那覇市社会福祉協議会と連携して、週に1回、学内でミニデイサービスを開催してきました。利用者は年々増え、多い時には100名程のお年寄りが学生との交流を楽しみに足を運んでくれましたが、昨年度からの新型コロナウイルスの影響でミニデイサービスは開催できていませんでした。コロナ禍の中、少しでも和やかな気持ちになってもらえたらと一人暮らしのお年寄りにこれまでもクリスマスカードや暑中見舞いの葉書を贈る活動を継続させてきました。この日は20枚の完成した年賀はがきをポストに投函しました。

学生たちは、ミニデイサービスを利用していた方々の健康と2022年は新型コロナが終息して、またデイサービスが開催できることを祈りながら投函していました。



# 研究のひろば

## 学校教育における文化受容者の育成

こども文化学科の吉村壮明です。研究内容の紹介ですが、私は大学で美学美術史、大学院修士課程で教育学（美術科教育）、大学院博士課程で芸術学を専攻し、現在、「初等教育の図画工作における造形遊びと鑑賞教育、学校教育における文化受容者育成の考察」を研究テーマとしております。専門は美術教育学および芸術学です。この研究を行う背景として、私自身の大学時代、Bゼミという現代美術を学ぶ機関で、聴講生として現代アートに関わった事が強烈な印象として残っており、その後、学校教員（公立中学校、国立大学教育学部附属中学校、私立女子高等学校）としての教育実践の歳月があります。また沖縄県那覇市の農連市場でのアートワークショップや九州大学大学院研修員時代のアジア美術調査も有意義でした。これらの経験が美術と教育の双方から研究を行う「美術教育学」という分野への関心と継続に繋がっております。

さて、限られた紙面ですが、少しだけ「学校教育における文化受容者育成」について述べたいと思います。この論考で重要になってくるのが、美術評論



▲沖縄大学での「造形遊び」体験

家のアーサー・ダントーが述べたアート・ワールドという概念です。

ダントーはアートとは何かという問いから、作品が成立する場として社会的制度こそがアートを成立させると考えました。つまり、あらゆるイメージに関与する視覚文化とその市場は「アートに関連する全ての場」としてのアート・ワールドの一部であって、学校教育における美術教育もアートという巨大な文化的営為の一部なのだということです。

それは「美術文化受容者層」としての、そしてまた、アート・ワールドの成因としての「子ども」の存在という認識に他なりません。この観点から、現在、沖縄大学の授業ではアートゲームや図画工作の教材開発に取り組んでおりますが、引き続き、アジアや沖縄の美術表現を含む文化を手渡すべき存在としての子どものに向けた教育研究を深めていきたいと思っております。

人文学部 こども文化学科 教授  
吉村 壮明



▲学生の「内なるこども」ドローイング



▲美術作品カードを使った「アートゲーム」



経法商学部  
経法商学科 講師  
神澤 真佑佳



**徹底的に勉強することは面白くて、楽しい！**

神澤ゼミ（以下ゼミ）では、「徹底的に勉強することは面白くて、楽しい」を合言葉に民法の判例・事例研究を行なっています。

判例とは、私たちの日常生活の中で実際に生じた紛争について裁判所が示した法的判断です。ゼミでは、判例が、どんな根拠・ルールに基づいて導かれたのかを事実の概要から学説に至るまで整理・分析します。さらに、この判例が、類似の事案にまで適用できるのかを考え、判例をアレンジした事例問題を実際に解いていきます。

しかし、事例問題を解くことは、容易ではありません。なぜなら、事例問題を解くには判例で示されたルールを「知っている」だけでなく、「使える」ことが要求されるからです。そのためには、多くの専門的な資料を自ら積極的に調査し、講読することが必要です。ですが、これらを一人でやることは容易ではないため、グループで課題に取り組みます。この



中で、個々の短所を他のメンバーが補い合い、そして個々の長所を尊敬・見習う中で、ゼミ生の能力が相乗的に成長することを目指しています。

こうした教室の中での学びのほか、ゼミでは、インターカレッジ民法討論会（以下インカレ）にZoomで参加しました。インカレは、全国各地の民法ゼミが集まり、法解釈・適用の正確さや質疑応答の的確さを競う討論会であり、2021年で28回目を迎える、歴史のある討論会です。

インカレに向けての1ヶ月間、ゼミ生は、先輩・後輩問わず、自主的に、ほぼ毎日、図書館や空き教室などに集まり、徹底的に議論・検討を重ね、出題された事例問題について立論を行なっていました。

こうした準備を通じて、インカレで要求されているアカデミックスキルが向上したのはもちろん、先輩・後輩問わず、ゼミ生同士の繋がりが、より深まりました。それが高じて、感染対策をとった上で、自主的にフィールドワークを企画・実行するなど、「学び」と「遊び」のメリハリが効いた楽しいゼミとなりました。

「徹底的に勉強することは面白くて、楽しい」という経験は、大学生ならではのものだと思います。この経験が、ゼミ生自身の将来の夢を叶える契機になれば幸いです。



卒業生の活躍を紹介！

# あの人はいま

卒業生の活躍を紹介する企画『あの人はいま』。

今回は空手家清水由佳さんを紹介します。清水さんは大学在学中に世界選手権で優勝を果たし、現在は那覇市泊に劉衛流清水那覇龍鳳館を開き、未来のメダリストへの指導にあたっています。記憶に新しいところでは、昨年夏の東京オリンピックの空手競技で解説を務められ詳しい解説がとても評価されていました。

清水さんが空手道をはじめたきっかけや、今後の夢についてお話を伺いました。

清水さんのインタビューは、  
本学ホームページ企画「17歳へ」で  
詳しく掲載しています。  
是非そちらもご覧ください。



## Q 空手の道に進んだきっかけについて

私があまりにもお転婆娘だったため、親がこの子のエネルギーをどこかで発散させなければと連れていったのが空手の道場でした。空手衣を着せられいつの間にか入門させられていましたが、道場の先生や先輩方の稽古中の凄まじい気合、それとは対照的に休憩時間等に優しく声をかけてくださる、そのギャップにすっかり魅了され、気づけば意欲的に通うようになっていました。

茨城の道場の先輩に世界チャンピオンが誕生し、金メダルを持たせてもらう機会がありました。感銘を受けると同時に、「私も世界チャンピオンになる」と心に決めたのが小学校5年生の頃でした。

## Q 沖縄の地へ、そして沖縄大学に進学を決めたのは

道場の先生が空手道の歴史を話される時に「空手発祥の地は沖縄」といつの間言われていたので、大好きな空手道の本場に行ってみたいという純粋な気持ちが芽生え始めました。

沖縄の風土や大学についてはまったく無知でしたが、全日本学生連盟に加盟して活動していたのは当時沖縄大学だけであったため、沖縄大学に進学しました。

大学では、教員免許（公民）も取得しました。教育実習を2週間こなし、終了直後に世界選手権大会に出発した時の過酷さや慌たしさはいい思い出となっています。



## Q 空手の魅力は

結局は空手道の魅力よりも、空手道で出会った人とのご縁に魅力があるのだと思います。

どの職業においても、「何をするか」ではなく「誰とするか」の方がずっと重要で、人がやり甲斐を感じるのもそこにあるように思います。私は、茨城の櫻空塾、沖縄の劉衛流にそれぞれ出会い、育てられたことに心から感謝しています。感謝の気持ちを忘れずに、恩返しは「次世代につなぐこと」だと信じて、空手道の技に

限らず心意気を伝承していきたいと考えています。

## Q 今後の夢を教えてください。

キャリアバッグに空手衣を入れ、世界中を旅したいです。先進国に限らず、途上国・貧困国にも行って、青空道場を開いてその国の人と交流したいです。戦争がなくなる人類の愚かさを認識したうえで、人類の成長や恒久平和を切望し続けていく、そのためには、地球をもっと回る必要があると思っています。

## 清水由佳さんプロフィール

2005年3月：沖縄大学国際コミュニケーション学科卒業

その後科目等履修生として教員免許（公民）を取得。  
（世界選手権には4回連続出場し、いずれも決勝戦まで進み、優勝2回・準優勝2回に輝く）

2009年：東京にある通信制高校で公民の教員として採用

2013年：沖縄に戻り、沖縄国際大学非常勤講師、現在は名桜大学でも非常勤講師を務めている。那覇市泊に道場を開設、後進の指導にあっている（東京オリンピック金メダリスト喜友名諒選手とは同じ門下生）



## 2021年度寄附金報告

2021年4月1日から2022年3月10日までの間にいただいたご寄附について以下にご報告いたします。このご厚意を大切に、有効に使わせて頂きたいと存じます。ご寄附をいただいた皆様に熱く御礼申し上げます。

総額 24,911,000 円（総額については、匿名希望者のご寄附も含めた金額です。）（金額順・五十音順）

### 【冠奨学金】

株式会社沖縄銀行 様	1,750,000 円
株式会社琉球銀行 様	1,750,000 円
株式会社沖縄海邦銀行 様	1,050,000 円
沖縄トヨタ自動車株式会社 様	350,000 円
沖縄ビル管理株式会社 様	350,000 円
セコム琉球株式会社 様	350,000 円
福山グループ 様	350,000 円

北部製糖株式会社 様	30,000 円
有限会社琉冷サービス 様	30,000 円
仲村 芳信 様	20,000 円
毛利 孝雄 様	10,000 円
石川 丈正 様	5,000 円
大石 直樹 様	5,000 円
大森 潤之介 様	5,000 円
謝名 孝雄 様	5,000 円
備瀬 知晶 様	5,000 円
屋富祖 繁幸 様	5,000 円

### 【法人・個人】

仲村渠哲勝 様	510,000 円
島袋より子 様	100,000 円
株式会社德里産業 様	90,000 円
小島 宏 様	50,000 円
沖縄テクノクリート株式会社 様	30,000 円
株式会社白石 様	30,000 円
株式会社シンテック 様	30,000 円
株式会社德里ハウジング 様	30,000 円
整形外科てるクリニック 様	30,000 円
南洋土建株式会社 様	30,000 円

### 【野球部全国大会出場への支援金】

2,772,000 円

### 【大学関係】

沖縄大学後援会	6,160,000 円
沖縄大学教職員	2,619,000 円
沖縄大学同窓会	1,090,000 円
沖縄大学支援同志会	210,000 円

## 長寿県復活を 目指して⑧

健康栄養学部 管理栄養学科准教授  
國仲 小織

2022年4月、管理栄養学科の1期生が4年生になり『もう一度健康長寿おきなわ復活』の願いを託された管理栄養士として社会に飛び立つ時が迫ってきました。春休みには学生の就職活動がスタートし、リクルートスーツで会社説明会に参加する姿や、仕事への夢を描きエントリーシートや履歴書を作成する様子を見て頼もしく感じています。

現在、管理栄養士の主な就職先である医療・介護の現場<sup>1)</sup>では、管理栄養士の活躍に期待した大きな変化の時期が来ています。一例として、令和3年度介護報酬改定<sup>2)</sup>により、介護保険施設では多職種共同による栄養マネジメント強化加算の算定要件として「管理栄養士を常勤換算方式で入所者の数を50で除して得た数以上配置すること」が必須条件となりました。また、令和5年度末には管理栄養士による栄養ケア・マネジメントの未実施による減算（施設収入減）の経過措置期間が終了します。この改定により、介護保険施設における管理栄養士の配置状況が入所者の栄養ケアと施設の収益に影響を与えることから、管理栄養士の求人が増えると予想されます。また、令和4年度医療報酬改定では、管理栄養士がチーム医療に参画することが診療報酬算定の必須条件となる各種改定が行われました。更に令和6年度には医療介護報酬同時改定が控えており、管理栄養士の専門性と連携に期待する改定が行われると予想されます。このように、国が国民の健康維持増進に関して管理栄養士の重要性を認め期待を寄せる改革中に1期生の旅立ちの時が来たことを嬉しく感じています。

未来、行政・病院・介護保険施設・学校・企業等々で沖縄大学卒の管理栄養士が個々の強みを活かして活躍し、シームレスな栄養支援実施のため互いに連携する姿が目に見えます。また、他学科の卒業生との同窓の絆も活かして『長寿県復活』に貢献できると信じ、1期生との残された時間を有意義に過ごしたいと考えています。

### 1) 2019年度 養成校卒業者の就職状況 管理栄養士養成課程卒業



出典：公益社団法人日本栄養士会 HP  
(<https://www.dietitian.or.jp/students/job-guide/>, 2022年3月6日取得)

### 2) 管理栄養士に係わる介護保険施設収入項目(令和3年)

※1単位は約10円で計算する

収入項目	単位数
食事利用費(食費)	1日1,380~2,000円(施設による)
栄養ケア・マネジメントの未実施	1日14単位減算 (3年の経過措置期間あり)
栄養マネジメント強化加算	1日11単位
経口以降加算	1日28単位
経口維持加算(I)	1月400単位
経口維持加算(II)	1日100単位
療養食加算	1回6単位(1日3回を限度とする)
短期入所生活介護、短期入所療養介護施設での療養食加算	1回8単位
再入院時栄養連携加算	200単位(1回8単位)
居宅療養管理指導費1	1回443~544単位
居宅療養管理指導費2	1回423~524単位

出典：前田佳予子・岸本三香子, 2022, 『五訂 臨地実習ガイドブック』, 東京都：株式会社建邦社 (一部改変)



# NEW

新学長のいろいろ

## 私が大切にしたいもの6つ

### 1.Health

我が身だけでなく沖縄全体の健康を願います。「禁煙は愛」がモットーです。

### 2.Family

外科医時代は仕事がメインでしたが沖縄に来て家族の大切さに気がつきました。

### 3.Neighbors

かけがえのない他者とともに生きていることを常に意識していきたいです。

### 4.Students

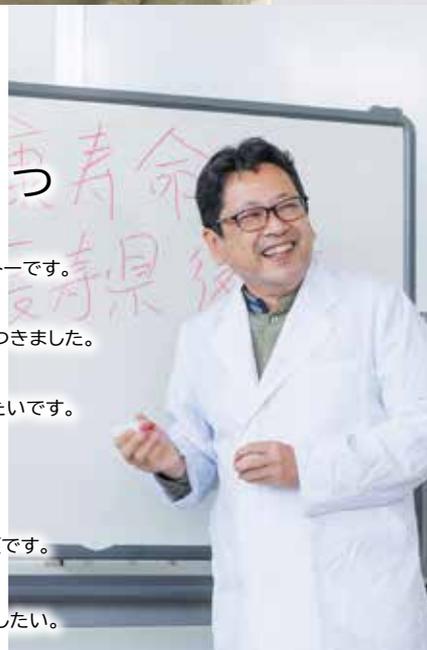
言うまでもなく沖縄大学の学生あつての私です。

### 5.OneTeam

学生の成長をささえるには教職員が生き生きと働ける場が必須です。

### 6.Narrative

沖縄の物語、沖縄大学の物語、皆さんの物語、私の物語を大切にしたい。



# OKIDAIのわプロジェクト

沖縄大学への寄附について

## 寄附金で 沖大生を支援しよう

寄附金は学内整備

(学びの場・憩いの場を増やします)や  
学生活動のために使わせていただきます。

ホームページの寄附サイトや経営企画室にて  
寄附を受け付けています。

さぼーと + おうえん = GIFTEE

Giftee

